

平和運動フォーラム石狩地域協議会通信

平和運動フォーラム
石狩地域協議会

〒060-0806
札幌市北区北6西7

村上 真仁

TEL:011-747-1880



講演する北海道平和運動フォーラム代表、江本氏。改憲の問題点を何度も繰り返し議論する必要を強調した。＝ 北広島市中央会館

『あえて「かつこ悪さ」を選ぶ』

改憲の危険性 くりかえし議論を

石狩地協では毎年、会員の知識や理解を深めるための学習会を開催しており、昨年・一昨年は東日本大震災により、原発や自然エネルギーをテーマとして取り上げている。今年度の平和学習会は9月21日、北広島市において開催され、会員34名（うち女性4名）が参加した。

開会にあたり山口代表は『平和憲法を守るためには小さくても大衆運動が大きさを持つ』とあいさつ、会員にも協力を要請した。

今回は、政権交代によって盛んに議論されるようになった

『憲法改正』について、弁護士で北海道平和運動フォーラム代表でもある江本秀春氏を講師に、安倍政権の改正の問題点など、解説を受けた。江本氏は冒頭、『分かり切った平凡なことを言い続けるかつこ悪さに耐える』という憲法学者の樋口陽一氏のコラムの言葉を引用し『かつこ悪さ』に耐えながらも、改憲問題について繰り返し取り上げていくことの重要性を強調した。

見えない恐怖 見えた！

1000個の風船、空へ

泊原発再稼働を許さない取組として、北海道平和運動フォーラムは10月5日、

「STOP泊原発の再稼働！さようなら原発北海道集会」を岩内町にて開催、1500名が参加した。

呼びかけ人として小野 有五氏、麻田 信二氏がそれぞれ挨拶を行った後、ジャー



拡散する放射能汚染を可視化するために、集会参加者に配られたメッセージカード付の風船が一斉に空に放たれた。

小さな一歩を大きな力に！



休日にもかかわらず多くの市民が足を止め、脱原発の署名に応じた。＝ JR北広島駅前

原発のない北海道をめざし、北海道平和運動フォーラムは全道100万人署名を展開しているが、その一環として石狩地協は9月21日、JR北広島駅前にて署名活動をを行った。

この時点で原発はすべて停止しており、駅頭を行きかう市民に「一人ひとりの行動は小さな一歩か

その後、高校生からのメッセージとして、夕張高校3年の杉村さんは「子供どもや孫に責任をなすりつけて、それでいいのか。再稼働に強く反対する。」と力強く語った。集会の後段、メッセージカード付風船が配られ「脱原発」の願いとともに1000個の風船は一斉に空へ放たれた。

**石狩地域協議会
第14回定期総会**

11月29日(金)
18:00 ~
江別市民会館

もしれないが、皆で力を合わせれば大きな力になる。ぜひご協力を」と訴えた。家族連れなど多くの市民が足を止めて署名に応じ、市民の関心の高さがうかがえた。約1時間と短い時間ではあったものの、77筆を集約した。

○事務局だより○

短い時間での署名でしたが、反応は上反でした。忘れ去ることなく、脱原発の声を上げ続けることが政府に決断をさせる近道と実感しました。放たれた風船のように放射能汚染が拡散する前に： (む)